けやき

No.11

甲府市立南中学校
令和４年２月１日
文責　渡　邉　　豪

令和４年の幕開け

１月７日に令和４年の学校生活の幕開けとなる、３学期始業式を行いました。前日６日には、新型コロナウイルス感染症の陽性者が28人確認され、始業式当日の７日も23人の陽性者が報告されました。山梨県で２桁の陽性者が確認されたのは、10月１日の12人以来で、約３ヶ月ぶりのことでした。新たな変異株で、感染力が非常に強いとされているオミクロン株の感染拡大が危惧されている時であり、一人一台端末として普段から活用している chrome book で WEB 会議アプリを使い、被服室と各教室を結び、感染防止対策と防寒対策を行いながらの始業式となりました。各学年代表の意見発表として１年生代表 森野 実嶺 さん、２年生代表 河野 心春 さん、３年生代表 竹内 凜桜 さん が、３学期に向けての目標や決意を語ってくれました。それぞれの学年に応じた素晴らしい目標を、落ち着いて堂々と発表してくれました。

以下は始業式で全校生徒に話した内容の抜粋です。

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新春を迎え、心新たに3学期が始まったことと思います。今、皆さんは、新たな目標をもち、自分を磨く、そして、友達と磨き合うという意欲に満ちあふれていると思います。3年生は進路決定という重要な時が迫っています。1･2年生は、上級生へと飛躍する大切な時を迎えます。一人ひとりが目標をもち、それぞれの夢や志の実現に向け、日々自分を振り返りながら前進して欲しいと思います。

さて、今日は、倉本 聰さんという脚本家の話しをしたいと思います。倉本さんは、「北の国から」という北海道富良野市を舞台にした物語を書きました。以前、物語を創る時のことをこのように話していました。「私はシナリオを書くとき、登場人物一人一人の履歴書、つまり生い立ちをつくる所から、まず始めます。それは木に根があるのと同じなんです。大きな木を、根が無い状態で立たせようとしても立ちません。根が広く、深く地面に張っているから、木はきちんと立っているのです。しかし、根は人の目にふれることはありません。とかく人間は、花を咲かせ、緑に映える枝葉の方に目がいきますが、木は根があるから立っていることを忘れてはいけません。物語というのは、そこをつくらないと成立しないのです。」

また、今では箱根駅伝の上位入賞の常連校で、今年も新記録で総合優勝を果たした青山学院大学の原監督がこんな話しをしていました。「良い種を蒔くだけではだめ。土壌がしっかりしていなければ良い芽は育たない。」広島世羅高校の選手から、大学、実業団で選手生活を送り、現役引退後会社員となり、その後、監督に就任しました。様々な経験から、

何が選手にとって必要なのかを常に考えながら、チーム作りをしたそうです。選手一人一人が、課題意識を持ち、常に自分自身へ問いかける、自立したチームを目指したそうです。それが優勝を成し遂げるまでのチーム力の源となっているのだと思います。

3学期は物語で言えば結び、駅伝ではアンカーということになります。どんな形で終わるのか、それは皆さんが学級や学年、家庭でどのように過ごしていくのかで、結末が決まってくると思います。残すところ3学期のみ。充実した3学期を過ごし、皆さんにとって悔いの残らないように令和3年度が締めくくれることを、心から期待しています。

新生徒会本部役員の活動が始まりました

昨年12月24日の終業式の前に、「新生徒会本部役員任命式・引き継ぎ式」が行われました。任命式では、新生徒会長、副会長男女、事務局長の４名に校長から任命書を交付しました。その後

「生徒会引き継ぎ式」が行われ、旧生徒会本部役員と新生徒会本部役員が登壇し、旧役員から新役員にファイル等の引き継ぎを行い、旧生徒会長の 髙木 未来 さん から旧役員を代表してあいさつがありました。続いて新生徒会長 望月 瑠莉 さん から新生徒会本部役員の紹介と三役以外の役員に任命書を交付した後、代表してあいさつを行い、新生徒会本部が正式に発足しました。

今後の活動としては、３月７日実施予定の「三年生に贈る会」の企画立案、実施が新生徒会本部と１，２年生の最大の取り組みとなります。

１月25日に1，2年生による「第1回三年生に贈る会実行委員会」が行われ、活動内容等について話し合いが行われました。今後は、新型コロナの感染状況を確認しながら活動を行っていくことになり、臨機応変に対応しなければならないこともあるかと思いますが、1・2年生の力を合わせて乗り越えていってくれることと思います。今現在も、全世界がコロナ禍にあり、いつも通りの生活や活動が行えないことも多いですが、その時々で様々な工夫をしながら、今できる精一杯の活動を行っていくことで多くの経験をし、それが一人ひとりを成長させてくれると思います。

また、生徒会の日常活動として、１月19日から21日までの３日間、新生徒会本部役員を中心に「あさがお運動」が行われ、登校する生徒に爽やかなあいさつの声がかけられ、自転車や徒歩で通学する生徒も気持ちの良いあいさつを返していました。厳寒の中、学校全体が爽やかで温かな空気に包まれました。今後、JRC 活動などの日常活動、生徒会行事などで全校生徒をリードし、大いに力を発揮してくれることと期待しています。